

# 令和4年度3年社会A（歴史・公民政治的分野）年間指導計画105時間

【評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度】

月	単元名	時数	指導目標（評価規準）	評価規準および方法
4	「近代の日本と世界」☆◇	5	① 自由民権運動、大日本帝国憲法、日清・日露戦争、条約改正、産業革命などにより、日本の国際的地位が向上したことをとらえる。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 近代日本と世界について理解している。 (ワークシート・定期考査)
5 6	「二度の世界大戦と日本」	21	① 第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きについて理解する。 ① 第二次世界大戦前後の国際情勢の中で、新しい日本の建設が進められたことについて理解する。 ② 戦争について諸資料から多面的・多角的にとらえ、平和の大切さについて考察する。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 歴史的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、考えを深めている。(ワークシート) ① 2回の世界大戦の国際情勢と日本の動きについて理解している。(定期考査)
7 9	「現代の日本と世界」☆	12	① 第二次世界大戦後の日本が再建と独立の道を進み、冷戦などの世界の動きの中で経済発展を遂げ、国際社会における役割が大きくなってきたことを理解する。 ③ 現代の日本と世界の動きに関心をもつ。	② 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 歴史的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、考えを深めている。(ワークシート) ① 現代の日本と世界について理解している。 (定期考査)
	「私たちの暮らしと現代社会」	12	③ 少子高齢化、情報化、グローバル化の影響を資料から読み取り、将来について予測する。 ① 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、効率と公正などについて理解する。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 公民的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、思考力を深めている。(ワークシート) ① 現代社会のしくみについて理解している。 (定期考査)
11 12	「個人の尊重と日本国憲法」☆★◇	19	② 個人の尊重の意義について考察する。 ② 基本的人権を中心に、個人の尊重について意欲的に追究する。 ① 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることを理解する。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 公民的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、思考力を深めている。(ワークシート) ① 個人の尊重と日本国憲法について理解している。 (定期考査)

1	「私たちの暮らしと民主政治」☆	18	② 国会、民主政治、裁判、選挙のしくみなどを理解し、それらの意義について考察する。 ① 地方自治のしくみについて理解する。 ② 地域の実態や課題を基に、町づくりについて考察する。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 公民的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、思考力を深めている。(ワークシート) ① 現代の民主政治と社会について理解している。(定期考査)
2 3	「国際社会に生きる私たち」★◇  「私たちが未来の社会を築く」☆	18	14 ① 国家間の相互の主権の尊重と協力について理解する。 ② 環境問題などの地球規模の課題を探り、その現状と原因について理解し、今後の展望について考察する。 ② 国際連合や国際社会が抱えている課題について理解し、実現可能な対策を考察する。	③ 進んで学習に取り組もうとしている。 (授業態度・挙手・発言) ① 公民的事実を認識している。 (ワークシート・定期考査) ② 班活動で自分の意見を書き、グループで発表し、思考力を深めている。(ワークシート) ① 国際社会のしくみや国際連合について理解している。(定期考査)

観点	社会的事象についての知識 資料活用の技能	社会的な思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界や日本の諸地域・歴史、現代の社会的事象についての知識を身に付けているとともに、様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	地理や歴史、現代の社会生活に関わる事象と関連付けて、地域の特色や年代、現代社会の特色を多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史、現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現や現代社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・プリント内容 ・確認テスト ・定期テスト	・プリント内容 ・確認テスト ・定期テスト	・授業観察 ・討論などに対する姿勢 ・提出物状況

### 学習のアドバイス

(1) 授業の取り組む姿勢：授業ではプリントを使いながら大切なことや時代の流れなどを話します。話を聞きながらメモなどをとると理解が深まります。 (2) 提出物はきちんと出す：プリントやワークなど提出期日を守る習慣をつけましょう。 (3) 授業準備をしっかりとする：忘れ物をしてしまうと、その日の授業内容がみにつかない場合があります。必ず授業のある前日までに準備しましょう。 (4) 討論などの積極的参加：調べ学習の発表や討論は積極的におこないましょう。
---

### 3年社会科B（地理・公民経済的分野）年間指導計画

評価の観点 ①知識技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 35時間

月	単元名	時数	指導目標（評価規準）	評価規準および方法
4	第2部 日本のさまざまな地域 第3章 6節 東北地方 1. 東北地方の県と地形 2. 東北地方の自然環境 3. 寒い夏に対する稲作と畑作の努力	(11) 1 1 1	① 日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有効な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりすることができる。	①それぞれの地方の地域的特色を七つの視点から考え、表現することができる。 (ア)自然環境 (イ)他地域との結びつき (ウ)環境保全 (エ)産業
5	4.果樹栽培の発展と生活に根づいた漁業 5. 伝統文化を生かした観光業の発展 6.発展する工業と生活の変化	1 1 1	② 東北・北海道地域の自然環境について理解し、その地域の人々の暮らし、生活を考える。 ③ 東北・北海道地方の農業、漁業などの第1次産業の果たす役割を理解する。	(オ)人口や都市 (カ)生活・文化 (キ)歴史的背景 (発表、ワークシート、定期考査)
6	第3章 7節 北海道地方 1. 北海道の地形と主要都市 2. 北海道の自然環境 3. 厳しい自然環境を克服した稲作の歴史	1 1 1	④ 東北・北海道地方の歴史・文化を理解し、観光業の果たす役割を考える。	②さまざまな資料を適切に活用し、必要な情報を読み取ることができる。 (資料テスト、ワークシート、定期考査)
7	4. 大規模化してきた畑作や酪農、漁業 5. 歴史や北国の自然を生かした観光業	1 1		③進んで学習に取り組もうとしている。 (ワークシート、発表、授業態度)
9	公民的分野(経済) 第4章 私たちの暮らしと経済	(24)		
10	1節 消費生活と市場経済	5	① 生産と労働、消費の循環について理解する。	① さまざまな資料を適切に活用し、必要な情報を読み取ることができる。 (資料テスト、ワークシート、定期考査)
11	2節 生活と労働	5	② 株式会社のしくみについて理解する。	
12	3節 市場経済の仕組みと金融	5	③ 市場経済と金融の仕組みについて理解する。	② 進んで学習に取り組もうとしている。 (ワークシート、発表、授業態度)
	4節 財政と国民の福祉	5	④ 財政の役割、社会保障制度のしくみについて理解する。	
	5節 これからの経済と社会	4	⑤ 環境問題やSDGSの果たす役割を理解する。	

1	身近な地域の調査 ・テーマ決め ・調べる方法 ・調査の仕方 ・資料の集め方 ・まとめの仕方	(4) 1 1 1 1	③課題を迫及し, 解決策を意欲的に考えようとする。 ②課題を見つけ, 解決方法を考えている。 ①地図や写真, 統計資料などを的確に読み取り, 活用してまとめることができる。 ①調査の視点や方法を身につけている。	③進んで学習に取り組もうとしている。 (発表, 授業態度) ②自ら課題を見つけ, それに対する解決方法を考えることができる。(発表) ①調査結果を分かりやすくまとめることができる。(発表) ① 身近な地域の特色を理解するとともに, 調査の方法を身につけている。(定期考査)
---	--	-------------------------	--	--